日本勤労者山岳連盟・静岡県勤労者山岳連盟

裾野麗峰山の会 (sine１９９４)

第２７期・８巻　　２０２１年　11 月号　　ＮＯ．243

仲間と仲間を結ぶ機関誌

れいほう

Susono Reihou Alpine Club

風の記憶

山行ＮＯ．１９４８
２０２１．１０．０７
那須・三本槍岳

２０２１年度・１１月度例会資料　　２０２１、１１．０６

１．報告・当面の予定

０９月２５日（土）・・・富士山・小富士（キノコ狩り＝ハナイグチ・キノボリイグチ）５名

１０月０３日（日）・・・富士山（キノコ祭り）　３名

０６日（水）～０８日（金）・・・栃木・岩裂山（おざくやま）、那須連峰周回

１０日（日）・・・午前＝理事会、午後＝安全登山講習会（藤枝・長田生涯学習Ｓ）

元カモシカスポーツ店長　笹原芳樹氏

２１日（木）～２２日（金）・・・天狗岳・西尾根　４名

２９日（金）・・・Ｇ尾根～位牌～鋸岳　２名

３０日（土）・・・富士山頂　３名（登頂２名）

１１月０３日（水）～４日（木）・・・子檀嶺岳（こまゆみだけ）　４名

０７日（日）・・・東部ブロック・交流ハイキング＝沼津ＡＬＰＳ

１３日（土）・・・愛鷹連峰・ブナ観察

１２月０４日（土）・・・忘年山行＝湯河原・幕山

２５日（土）～２８日（火）好天日・・・冬山合宿＝唐松岳

０１月０８日（土）・・・初登山＝城山～発端丈山（電車で行く山）

２．寄贈会報とピックアップ

「ハイキングだより」　新潟・みちぐさハイキングクラブ　10 月号　NO.326　P12　電子版

＊報告＝浅草岳交差登山、３班に分かれて実施。尾瀬、大人の女子休日。４０周年記念講演が「遠藤ケイ」聞きたかったですね！！！

「やまなし山の会会報」　山梨・山の会　10 月号　NO.293　電子版　P22

*山梨・日々新聞の山岳遭難集計・分析。報告＝編笠、五竜、鳳凰三山、白馬～日本海、今年２４回の富士山登頂。元会長の塩沢良雄さん遭難捜索記（後日、ご遺体で発見）

「あしたか」　沼津勤労者山岳会　１０月号　NO.表記ナシ　P9　電子版

＊計画＝瑞牆山、太刀岡山、猫越岳、塔ノ岳など、報告＝宝永山２３５２ｍ峰、新聞記事

「あさぎり」　あさぎり山の会　１０月号　NO.336　A4 判　p27　紙製本

＊報告＝高嶺～鳳凰三山、経ヶ岳（権兵衛峠往復）、日向山、金峰山、北岳～小太郎山、東大天井岳と横通岳、本宮山、霧降高原～女峰山、長尾山、など。

山梨山の会会報から

山梨山の会元会長　身延・三石山遭難捜索概念

9/21

元会長が身延の山で行方不明になり今月は大変でした。

塩澤氏（72）は三石山に下見に行ってくると言と言っただけで家に何も残していかなかったので、どのルートか分らないので新旧登山道、古道、作業道、沢などくまなく探しました。警察はヘリから犬まで使ったそうです。まだ見つかりませんが、プロの人は転落だろうと言っています。

ヤバいことに労山をやめてから地元の会の山行の都度県の日掛けの障害保険をかけていた

だけだそうです。下見などのための自分の保険には入っていなかったようです。
プロは１人１日４万プラス管理費などと高いですからね。
資料を送りますね。携帯電波の位置から考えると帰りがけに五宗山方面に寄ったのではないかと。捜索したルートは色の線のほかに送電線巡視路、作業道、堰堤までの沢を一昨日やっています。
巡視路も作業道も道とは名ばかりで、沢まで落ちるようなところがいくつもありました。
稜線から沢までは人海戦術で面で捜索しています。
GPS というのは 110 番したときに警察で分る正確なものではなく、3 つの基地局が受信した信号を三角法で特定した位置なので精度が低く、誤差は 300m以上です。

塩澤良雄さん捜索記　9 月 11～12 日　19 日　菊地

山の会元会長の塩澤良雄さん(2017 年退会)が 8 月 29 日に所属の会山行の下見のため身延の三石山に登り山頂到達後行方不明になりました。警察の捜索では手がかりなし。その後、雨が続き、なんとかならないものかと気持ちだけが焦る毎日でした。
警察の捜索が一段落した段階でご家族から捜索の依頼がありました。塩澤さん所属の会が動いていることも知り、山の会有志、山梨県山岳連盟有志、地元の会で捜索をすることになりました。

11 日（土）の捜索に参加したのは、中央市の会 10 人、県山岳連盟 6 人（甲府昭和、南嶺会、岳連会長ら役員）、山の会 9 人　計 25 人。
一行は取りまとめ役の磯野さんが作成した新旧登山道地図に基づいて捜索範囲を確認して山に入りました。
三石山は 1173m。通常ルートの体力度では☆ながら、山頂稜線に上がる鎖場付近には落ちたら助からない崖が足元にいくつも口を開けています。かなり危険な山という印象。
私の受け持った尾根は伐採と崩落、廃道化で踏み跡は 3 割もなく、地形図や GPS、YAMAP の軌跡を駆使して山頂稜線まで登りました。
登山道には山ヒルが棲息してみなさん大被害にあったようです。「サラテクトミスト」「ヒル下がりのジョニー」を吹きかけたので被害を免れました。
12 日は山の会 6 人と岳連の 2 人、計 8 人で携帯電波の途絶えた地点に行きました。遠くはるか下に椿草里の集落を望む送電線鉄塔の下には巡視路入口があり、下ると電波の途絶えた岩場があり、道はその下に続いていました。なんらかの理由でそこを下ったことも考えられますが、上から見るととても大きく深い谷です。
19 日には山ヒルの攻撃と闘いながら谷を捜索。山の会は椿草里から送電線巡視路を登り、古い作業道を下って捜索。巡視路も作業道も道とは名ばかりの危険に満ちたルートでした。
岳連グループは沢の上部を調べ、私たちと合流後、沢を下りました。19 日は捜索専門会社のスタッフが同行。残すは崖下のみとなり、プロ集団への依頼をご家族に提案するとのことでした。

塩澤良雄さんはハイカーの集まりだった初期の会に、社会人山岳会で培った技術を伝授、江口さんやクライマーの大坂さんとともに三ッ峠屏風岩や鶏冠山でのバランス訓練、富士山や黒百合平での雪山訓練を繰り返し、八ヶ岳や鳳凰三山の冬期雪山登山や北アルプス残雪期登山を実践して私たちに岩や雪の世界を教えてくれました。
また自治体職員としての類い希な企画力を発揮、清里の数百人規模の全国集会、全国ハイキングリーダー学校、関東自然保護集会などを成功に導きました。理事として全国連盟にも貢献しました。
一日も早く発見されるよう、再度捜索の機会があれば参加したいと思います。

山の会　捜索参加者

11 日
和唐、内田、浅野、江口、菊地、橋爪、位田、秋山
元会員　川島、内藤
12 日
位田、江口、菊地、齋藤、安藤、山村
19 日
位田、安藤、雨宮、菊地、浅野、秋山

11

三石山 遭難結果報告（続報）

過日の捜索には、何日もお手数をおかけし、献身なるご協力ありがとうございました。おかげ様

で、9月23日、発見され捜索終了となりました。
今回、南部署はじめ多くの山岳関係者の方々により、何日も捜索活動に加わって頂きました。しかしながら、遭難者の当日に夜勤があり時間が制限される中、不可解な行動の解読に手間取り、かなり悩まされました。また有力な手掛かりを知る上で、南部署の捜索範囲の開示、携帯電話のドコモによる開示などがそれぞれの事由で制限され、少ない情報のもと難航を極めました。
　南部署の捜索以外の山岳関係者の捜索は、9月2日：2名、9月11日：25名、9月12日：8名、9月19日：11名出役され、その延べ人数は：46名＋2名（林業関係者）の結果となりました。

　9月20日以降は、家族とプロの捜索会社：マウンテンワークスに委ね、今までの情報を分析し、進めることになりました。本人のパソコン、携帯再現にあたりドコモの情報開示に対する指示のもと開始し、9月22日：2名致命的と思われる三石山分岐に食い込む一番急峻な深い沢に、雨にも拘わらず捜索。9月２３日朝、携帯電話所有者が本人では無く娘さんであったことにより、ドコモにSIMカード再発行の手続きを行ったところ、当日の本人のGPS軌跡が判明し手掛かりができました。
　同日14：00過ぎ、マウンテンワークスの再捜索により、発見に至りました。県警のヘリが出動し検死を行い時間切れのため、翌24日早朝より再度ヘリが出動し遺体収容を完了しました。送電線近くの標高1048m付近のルンゼで、約10mほど転落し首を骨折しほぼ即死状態と推測されるとの事でした。収容されたものの本人確認作業のため、29日に結果が出る予定です。

＊当日の行動についての推測
　マウンテンワークス作成の本人の軌跡解析から見ると、本人が大変健脚であったことを考慮すると、当日の行動はバイク置き場～大崩登山口～分岐～三石山～分岐～送電線尾根～送電線直下ルート～椿草里～三石山林道～桑柄川右岸496mピークのある尾根～バイク置き場へ予め計画されたものと推測されます。
　画像で見られるように、送電線下方には椿草里が眼下に見え、送電線間近辺は伐採されているため、東電管理道は無視し、線上を忠実に下りようと計画されたものと思えます。時間が押していたため焦っていたことと、スニーカーで滑り易かったため、不慮の事故に遭ったのではないかと推測されます。

＊法による開示の限界
　結果的に本人の軌跡が分かってくると、何故最初から開示できないかの疑問が沸くのは当然ですが、そこには現行の法律による規制があり、やむを得ない事由が見えてきます。これらは総務省管轄でありこの行政評価局に勤務する詳しい山仲間に聞いて見ました。
　開示には個人情報保護法と情報公開法の2種類があり、一定のルールに基づいて提出し審査した上で開示することが義務付けられます。本人の承諾なしではできなく、例え人命に関わることであっても、犯罪・権力に悪用されることも絡み、警察にからでも所定の手続きを踏み、裁判所の決定が無ければならないとされています。警察も犯罪も照らし合わせ進めるため、捜索状況等を詳細に開示することはできないことになります。従って法で定められている以上、今回の警察・ドコモの対応は正しかったものと言えます。

＊考察

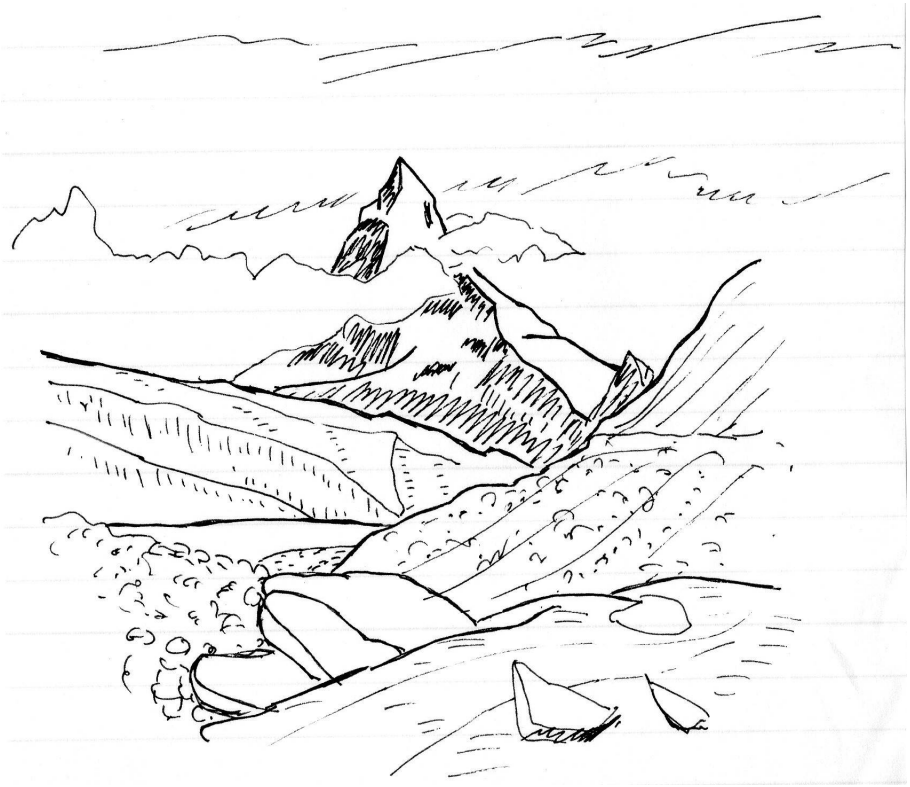
　今回の決めてになったドコモのSIMカード再発行の手続きにより、本人の軌跡が確認されました。これは名義がたまたま娘さんだったため、SIMカードの再発行から出来たものです。本人であれば、前述の大変な日数をかけて所定の手続きを取らねばなりません。
本人の不慮の事故を無にしないため、今後にこれらを活かすべきと考えます。

①全ての山に過信せずに、行き場所はメモ等でも家族・関係者に知らせておくこと。
②山岳保険加入は勿論、単独の場合、必ずココヘリを持参すること。
③経験者であっても年代と共に体力は落ちて行くので、無理な計画は避けること。

山梨県山岳連盟甲府昭和山岳会　磯野澄也

編者注・・・「安全登山五則」

１．装備は出発前に点検しよう。
２．単独登山はやめよう。
３．早出、早着を心がけよう。
４．引き返す勇気を持とう。
５．下山（下降）は気をぬくな。



た

第５５期（２０２１年度）第4 回理事会 報告　　２０２１年10 月10 日

於 長田生涯学習センター

伊豆HC（欠員） 清水労山（小林幹朗） ○ 山登歩（花澤秀治） ○三島労山（森 勤） ○ 静岡労山（加藤高志） ○ （鈴木みほ子） ○裾野麗峰（欠員） （砂子とみ江） ○ NMC（海野美春） ○ 沼津労山（鈴木みどり） ○ 安倍っ子（竹本幸造） ○ （森英代） ○あさぎり（福原勝保） ○ 焼津山の会（山崎勝治） ○ 浜松労山（小澤賀代子） ○ふじ山楽歩（欠員） フレンズ（鈴木哲治）

１．各ブロックからの報告
東部ブロック・・・11 月7 日にブロック交流ハイク
中部ブロック・・・８月リニア工事現場見学＝１４名参加、１０月２，３日磐梯山…３名参加
１０月１３日軽井沢、浅間隠山…６名参加予定、１０月１７日ふれあいハイク（びく石）…ゲスト６名家族含む１４名 会員３１名参加予定

２．各専門部からの報告
組織部・・・中間調査報告（別紙） 追加でフレンズ会員数、ココヘリとも変化なし
11 月末組織数報告について・・全国連盟より連絡あり次第配信
教育遭対部・・・事故報告（別紙）
自然保護部・・・自然保護デーの実施の報告を浜松労山 小澤さんまで

３．県連関係
２０２２年度労山カレンダーについて・・・10 月20 日締切 １部７００円
集金は次回理事会 中部ブロックは12 月のブロック会議で
安全登山講習会（１０月１０日）・・・１２：３０～準備
ベルクシュタット・・・今年度中に行う… 県連交流ハイクと一緒に行う
講師と連絡して確認
実際一人一人が行うのが良いが、模範を見せるくらいでどうか提案する
県連交流ハイク（１月１６日）・・・掛川の八高山 駐車場のこともあるので、いくつかのコースを出してみる
南アルプス写真展 （１１月２日～７日）
応募期限 10 月19 日 一人５点まで（印刷できない方は、静岡労山江藤さんにデータを送る）
南アルプスを未来につなぐ会について
静岡県連として団体加盟する（価値を共有するための いろいろな配信に対しての見張り役）
各会個人会員としても登録してほしい

４．全国連盟関係
＊7 月10 日～１１日 自然保護講座報告 別紙
＊全国登山研究集会に向けての課題別講演会・・その都度連絡を入れますので 聞いてみて下さい。
＊「労山登山学校交流会」 １１月６日（土）～７日（日） 別紙
＊「全国ハイキングオンライン集会」 １１月２７日（土）１３：００～１７：００ 別紙
＊女性委員会再編成会議を推進するためのアンケート 別紙（１２月上旬までに）

５．連絡等

・伊豆ハイクの現状
・南相馬市より感謝状（震災から１０年の区切りとして、支援のあったところへ渡す）
・次回理事会１月２３日 総会に向けて

切り抜き帳

静岡新聞から転載

静岡県とNEC 来月実証実験

富士登山客の接種歴 顔認証システムで確認

静岡県とNECは、登山客の新型コロナウイルスワクチンの接種歴を顔認証システムを使って確認する実証実験を11月に富士山で行う。感染拡大を防ぎつつ観光振興を図るのが狙い。2022年度以降の本格導入を目指す。他の観光スポットでの活用も検討する。

登山客は顔写真や個人情報、健康状態に加え、ワクチンの接種記録かPCR検査の陰性結果をスマートフォンアプリで事前に登録する。登山道の入り口ゲートで顔認証により本人であることを確認する。入山手続きをスムーズに行う仕組みだ。

現在は登山道で係員が体調を聞き取り、問題がなければ目印としてリストバンドを渡してリストバンドを着用してもらっている。手続きに時間がかかって混雑することがあり、感染対策の観点からも改善が求められていた。

実証実験は、富士山周辺のトレッキングツアー客約100人を対象に実施する。静岡県やNECのほか、IT企業のアルム（東京）などが参加する。

富士山実証実験のイメージ

現在	実証実験
登山当日	アプリで事前登録
登山道などで係員が体調聞き取り	・顔写真 ・個人情報 ・ワクチン接種記録または PCR検査結果 など
問題なければ	登山当日
リストバンド配布	登山道の入り口で顔認証
混雑することも	スムーズに

10/12

ライチョウの自然繁殖成功

富山、4羽が成鳥に

富山市ファミリーパークは12日、国の特別天然記念物で絶滅危惧種のニホンライチョウ4羽がほぼ成鳥並みに成育したと発表した。2015年に環境省などの「ライチョウ保護増殖事業」に参加した同パークで、親鳥が自然に交配し自ら卵を温めて子育てを終える自然繁殖に成功したのは初。

ふ化から約3カ月たった若鳥は雄2羽、雌2羽と判明した。それぞれ体長約30センチ、体重は480～570グラムとなった。成鳥に近い鳴き声を出し、母鳥から離れて過ごす時間が増えたという。

自然繁殖で成長したニホンライチョウ（富山市ファミリーパーク提供）

親鳥はいずれも同パーク生まれ。今年6月に産卵した11個のうち、6羽がふ化し、そのうち1羽が死に、1羽はけがのため人工保育をしている。担当者は「今後もけがなく成長するよう管理していきたい」と話した。

同事業では昨年、那須どうぶつ王国（栃木県）、いしかわ動物園（石川県）が自然繁殖に成功している。

10/13

全国高校総体登山男子の部

富士高山岳部 初V報告

市長訪問「厳しい訓練越え絆」

優勝の喜びを小長井市長に語る富士高山岳部男子のメンバー＝富士市役所

8月に福井県勝山市で開かれた全国高校総体登山競技男子の部で初優勝した富士市の富士高山岳部のメンバーらが27日、市役所を訪ね、小長井義正市長に喜びや練習で培ったチーム4人の信頼関係について語った。

大会は100点満点の減点方式で、実技と筆記で3日間競った。いずれも3年の加藤泰平さん、小川大道さん、佐藤健人さん、鈴木敬太さんの4人で臨んだ。実技での歩行技術や、筆記では読み上げたデータを基に天気図を作成する項目などを完璧にこなし、99・7点を記録した。

同校男子の最高成績は2019年の9位。4人は先輩の成績を分析し、登山の速さに加えて隊列の乱れを抑えるなどの練習を重ねた。加藤さんは「厳しい練習を4人で乗り越えた絆を発揮できた」と喜んだ。

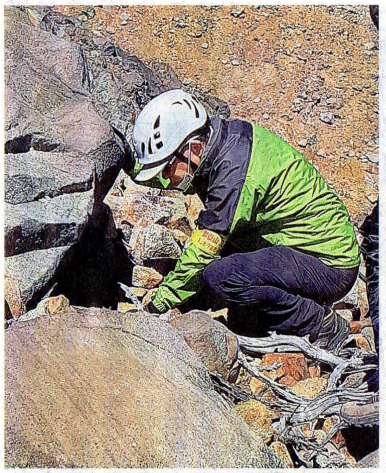
小長井市長は「新型コロナウイルスの影響で大会が開催されるか不安を抱えながら練習したと思う。優勝で得た自信と経験は大きな糧になるはず」とたたえた。

（富士支局・国本啓志郎）

御嶽山噴火7年を前に

不明の息子 父が捜索

尾根周辺 手掛かり見つからず



御嶽山の立ち入り規制区域内で捜索する、野村亮太さんの父敏明さん＝21日午前（長野県木曽町提供）

58人が死亡、5人が行方不明になった2014年9月の御嶽山（長野、岐阜両県）の噴火から7年になるのを前に、不明のままになっている愛知県刈谷市の野村亮太さん＝当時(19)＝の父敏明さん(61)らが21日、山頂へ続く尾根周辺の立ち入り規制区域内に入り、過去にリュックサックが発見された場所などを独自に捜索した。昨年に続き2回目。

噴火した9月27日当時、亮太さんと一緒に登っていた叔父の正則さん(58)も同行した。捜索したのは、長野県王滝村側の王滝頂上(2936㍍)から山頂（剣ケ峰、3067㍍）へ続く「八丁ダルミ」と呼ばれる尾根の周辺。昨年よりも奥側のエリアを重点的に歩き、約2時間、岩の間などを調べたものの、手掛かりは見つからなかった。

敏明さんは捜索後「7年たってリュックが見つかった場所に行くことはできた。亮太に近づけて、慰霊の思いも伝わったと思う」と語った。

火口に近く、多くの犠牲者が出た八丁ダルミには今月26日、遺族らが噴火後初めて立ち入り、慰霊登山する予定。王滝村は今後、シェルター2基を八丁ダルミに設置する計画。来年9月ごろまでに、王滝頂上から八丁ダルミを経て山頂に続く登山道の立ち入り規制の緩和を目指している。

裾野麗峰山の会・山行報告書	文・井上　　写真・後藤
山行番	NO.1945
日　時	2021 年 9 月 25 日（土）曇り時々小雨のち晴れ
山　域	富士山・小富士（1970m）
コース	長泉 6:00-新潟運輸 6:08-三嶋神社 6:15-新東名-須走 IC-須走登山口-標高 1320m（登山開始）7:10-小富士（三角点 1905m）8:52-小富士頂上（1979m）昼食休憩 10:15～10:55-登山口 12:15-アオキ食料調達-千福下 13:55（男子 3 名追加歩行）　-合谷さん宅 14:48）-直会 15:00～17:30-長泉（片道＝約 45km）
標高差	上り・下り　登山口約 1415m～小富士 1979m＝約 564m
藪漕度	上り・下り　なし
難易度	非常に困難　　困難　やや困難　普通　レやや易しい　レ易しい
富士山番外編のグランドキャニオン・小富士・キノコ汁	
参加者	後藤、加藤、星、勝又、合谷、井上＝6 名

今年の夏は、雨が多く、晴れれば猛暑、さらにコロナで自粛ムードもあり、テレビはオリンピック。と、家の中でじっとしているしかなかったという言い訳もあり、今回は 2 ヶ月ぶりの山歩きだった。

当初、標高約２４５０ｍの六合目・長田山荘まで上り、5 合目・東富士山荘 2240m）で昼食という計画で、標高差 1000m のハードな訓練を想定していた。しかし、もしやと思ったが、案の定、今年もキノコの山となり、結局、小富士までしか登らなかった。

爽やかな朝

グランド・キャニオン入口

天気予報は曇り。登り口より少し上の道際に駐車しスタート。登り口では、地図にある破線のルートの入口とは別の北の方角に進む道があり、「グランドキャニオン」と書かれた石の道標が立っていた。

せっかくなのでグランドキャニオンを見にそちらへ進むことにした。今回は合谷さんが道先案内人となった。とはいえ、道を知っているわけではなく、ただ尾根をどんどん登っていけばよいとい

うことだが、歩きやすいルートを探しながら進み歩く足も速くなる。しばらく森の中を歩くと、グランドキャニオンのお出ましだ。

目の前に大きな地層の壁が現れる。地層は斜めに走り、あるところではぐにゃりと曲がり、地面の下では大きな力がゆっくりと働き、地形を作り出していることが感じられる大きな風景だ。車を走らせているときに、巨大な砂防ダムをいくつも作っている工事中を通過した。このグランドキャニオンの沢が道路に交わるところに、どんどん砂が流れ込んでくるのだろう。我々が立っている沢の南側でも、落下防止のロープが所々で杭ごと崩れ落ちていた。あんな奈落の底に落ちたら這い上がれない。

Ｇ案内人？？

森の中の道はところどころでトリカブトが咲いていた。樹林帯を出ると、グランド・キャニオンは普通の沢になり、溶岩床を対岸に渡った。上は火山砂礫の坂になる。オンタデが紅葉し金色に光って見える。フジアザミも所々で咲いている。すぐに霧がでて真っ白になった。砂礫のため、踏み出した足が少し埋もれて戻ってくるので、効率が悪い。やがて小雨が降ってきた。ザックが濡れるので、各々ザックカバーを付けたり傘をさしたりした。

小富士の三角点 1905m 到着。三角点の標石の根本は 1m くらい下がっている。三角点は 1905m だが、実際の地面は 1904m。山が低くなっていく。

南側の木が生えている辺りから若い男女が現れ籠を持っていた。見せてもらうと「ジゴボウ（ハナイグチ）などのキノコが入っていた。ここで、後藤さんにキノコ狩りのスイッチが入った。試しに近くの林の中に入りちょっと探してみたら何本か見つけ、今日はチャンスと、登山予定変更。さらに登って 1979m の小富士頂上に達すると荷物を置いてキノコを探した。

しかし、小富士頂上付近では、須走口 5 合目からのキノコ狩りの人たちがたくさん来ていて、あまり残されていないようだ。また、ジゴボウに似ているが傘の表に模様があるキノコを見つけたが、食べられるか確信がなかったので、キノコ採りに来ているおじさんに聞いたところ「キノボリイグチ」といっておいしいキノコだと教えてもらった。

昼ご飯休憩は早すぎるがおなかがすいたということで 10:15 から小富士の頂上の小さな祠の北側で風をよけるように陣取った。風があり、かなり寒い。カッパを着る。寒くて手の指はあまり感覚がなくなっていた。

いつもは 3 分でできるカップヌードルだが、今回はカップうどんで 5 分かかるものだった。寒い

時は 3 分でできるものがよい。5 分経つとだいぶん冷えてしまった。時々青空が見えた。（翌朝、富士山の初冠雪が報告された。寒いはずだ。）

三角点・小富士

若いアベックのキノコ

小富士峰

祠があった

　下りでは一時的に霧が少なくなり、上りでは見えなかったまわりの地形が見えた。帰りのルートを間違えかけ、危うくグランドキャニオンの北の尾根に行ってしまうところだった。帰りに見たグランドキャニオンでは垂直に見える壁に鹿が斜めに横切って往復した足跡が見えた。よくあんなと

ころを歩けるものだと感心した。鹿が行けるなら、私も行けると加藤さん。帰りのルートは行きと一部違っていたが、スタート時に行かなかった道に出たようだ。

盆栽風美味のキノボリキノコ

お化けジゴボウ

見事なテンカラ（天然唐松）

下半分が黒い（水が浸みている？）

12:15 ゴール。キノコは傷みが早いので急いでベースキャンプ（以下 BC）と呼んでいる合谷さん宅ガレージに向かう。このままでは午後 2 時過ぎに BC に到着してしまい直会には早すぎるという

７０度～８０度の斜面に伸びる一条の斜め線は、鹿の足跡と考えられる

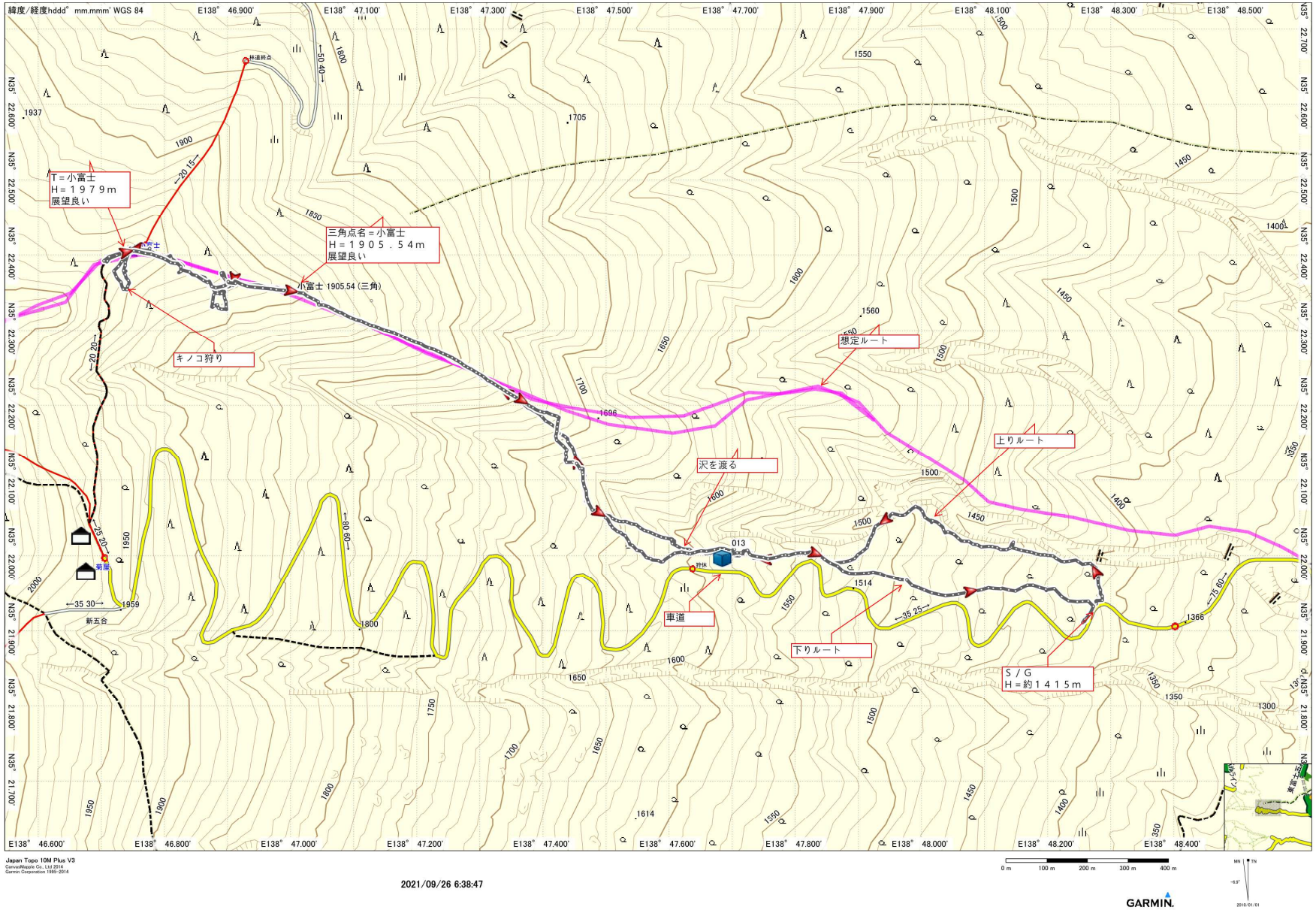
帰着

ことで、後藤さん、勝又さんと私の 3 人は千福ヶ丘の入口で車を降り、BC まで歩くことにした。50 分くらい登りの道を歩き、きっちりと汗をかいてのどが渇いた。これで準備 OK。合谷さんハンドメイドのクラフトビール（ゴーヤビール）が楽しみだ。

　BC ではすでにキノコ汁も完成していた。たっぷり肉と野菜を食べ、うまいビールを飲み、しめはキノコ汁。秋の味覚も楽しめ、ちょうどよい休日でした。

以上

直会


緯度/経度hddd° mm.mmm' WGS 84
T＝小富士
H＝１９７９ｍ
展望良い
三角点名＝小富士
H＝１９０５．５４ｍ
展望良い
小富士 1905.54 (三角)
キノコ狩り
想定ルート
上りルート
沢を渡る
車道
下りルート
S / G
H＝約１４１５ｍ
菊屋
新五合
Japan Topo 10M Plus V3
2021/09/26 6:38:47
GARMIN

裾野麗峰山の会・山行報告書	文・加藤　　写真・後藤
山行番	NO.1947
日　時	2021 年 10 月 06 日（水）晴れ
山　域	日光・石裂山（おざくやま・880m・栃木百名山・最高峰月山 890m）
コース	長泉町 6:00-鹿沼 IC-加蘇山神社発 10:10-尾根 11:47-月山 12:01～29（昼食）-石裂山 12:44-長い梯子 13:10-東剣ノ峰 13:14-奥ノ宮 13:42-月山分岐 14:11-加蘇山神社 14:36-鹿沼-北陸道-那須 IC-那須ロープウェイ駐車場 16:30（泊）
標高差	上り・下り　加蘇山社務所約 300m～月山 890m＝約 590m
藪漕度	上り・下り　なし
難易度	非常に困難　　困難　　レやや困難　　普通　　やや易しい　レ易しい
ハシゴ・クサリが多い、スリル満点の山	
参加者	後藤、加藤、星、合谷＝4 名

栃木県鹿沼市にあり「おざく信仰の山」で知られている。「おざくやま」とは絶対読めないだろう。未踏の山。

私は字のとおり「せきれつざん」と言ったら、「もう少し勉強してこい」とＣＬの一喝。だが、クサリあり、ハシゴありとかなりのアスレチックコースで登ってみると「おざくやま」より「せきれつざん」の名称の方がよっぽど相応しい山だと感じた。

加蘇山社務所

加蘇山神社

鹿沼ＩＣを降りて道を１本通り越してしまい３０分程のロスし、加蘇山神社社務所に到着。神社の趣は立派だが人気はなく寂れた感じ。手入れもされていないようだ。

正面に大きなカヤの木がたわわに実をつけ独特の香りを放っていた。実が足元にどっさりと落ちている。この香りが懐かしい！富士市の「毘沙門天祭」で有名なのが「タンキリ」だ。タンキリと言えばカヤの実。だが、現在はカヤの実が手に入らず「落花生」で代用されている。成長が遅いカヤの生産量はごく少量、とにかく貴重品という。

・・・材木としては将棋版や彫刻にも使われる超高級品で、樹脂が多くて炊くと虫除けになり、実

は実で美味しいし、実から出る油は料理に少量使うだけで胸焼けを抑えるという、何から何まで素晴らしい樹木。カヤの実を渋皮ごと 50 粒ほど砕き、800ｇの水で半量に煮つめて一気に飲めば数時間で「虫」が下りるといわれています。古書でもカヤの実（ヒシ）は「目を明に陽を起す」と記されており、強壮長寿の仙薬とされています。また、コレステロールを除く作用もあり、その実の常食は高血圧の予防や治療によいとされ、腰痛や頻尿の改善に効果があります。・・・ネット

神社入り口に「コースは岩場が多く、滑落事故も起きているので、装備・服装を整え、十分注意して登山して下さい」の掲示板があった。直ぐ後に二人の男女が車から降りてきた。男性は半ズボンにスパッツ。車中で山を検索した合谷さんが「此処はヒルがいるそうです」と話していたので、その旨足元は大丈夫か？と声を掛けたら、この近くの店で、ヒルがいる事を聞いたが、ヒル対策用の物は売ってなかったから仕方がないと言っていた。そりゃそうだ。

それにしても暑い！何だこの暑さは？この暑さでは絶対ヒルがいるぞ！丹沢では、大事な血を思いっきり吸われ、丸々と太ったヒルが靴の中からはい出てきた時は、辺り一面につんざくような悲鳴を上げた。その後、スマホでヒルの生態を調べ、濃い目の塩スプレーを丹沢では必ず持ち歩いている。が、残念！！無念！今日は持参してこなかった～！

日中から登るのは身体が陽射しに慣れていないせいか何時も堪える。段取りを終えて出発。川沿いに続く道は、５００ｍ程歩くと「下の宮」があり其処が登山口になっていた。川沿いの山道は鎖でゲートがしてあり、加藤の「この道で大丈夫」の確認で橋を渡ってダートな山道を進む。

途中でＣＬが「どうもオカシイ」と道迷いに気が付き「下の宮」まで戻る。このあと、加藤はＣＬの信用がなくなった。「弘法も筆の誤り」「猿も木から落ちる」ブツブツ加藤の呟きが聞こえる。３０分程のロス。後の２人も同じように道迷いしてきた。ＧＰＳで確認し鎖のゲートを越えてあらためて登山道を進む。しかし、道標がなく分かり難かったのも事実で不親切。

少し湿った山道で、ヒルがいないか目が点々と道の両脇を探る。足元がヒルに飛び付かれないようにポンポン跳ねる様な歩き方に変り周りを見る余裕がない。落差３ｍ程の竜ケ滝。其の直ぐ上に東屋があり、先で右が峰続きの月山、左が石裂山と二手に分かれていた。

時計周りが多いようだが、ここはＣＬ。皆と同じ方向で歩く筈がない。勿論私達は逆方向の月山を目指す。尾根に上がり込むまでの小さな岩場や樹林帯の荒れたヤセ尾根をジグザグに登っていく。

クサリ・ハシゴ連続

汗が滴り落ちて化粧もへったくれもない。ヒルの心配も何処へやら。タオルで汗を拭きふき只管（ひたすら）登る。尾根に出てやっと涼しい風が出てきた。だがまだまだ急な登りが続く。所々に、シロヤシオの木が目立ち、さすが栃木の皇室所？そして物凄くお腹が空いた。もう休みた～いの限界で月山頂上に着いた。

展望があったのか、なかったのか定かではない。とにかくお腹が空いて腹ごしらえが先だった。やっと満たされてホッとしたのも束の間、直ぐに出発。石裂山の標識に従って歩き始めたが、またもＣＬの「待った」がかかった。道の確認に標識まで戻る。そして進む。

山を回り込む道と、トラバースで直に下る道とあり、結果、道は先で合流していたが、「加藤は信用できない」のと、そしてＣＬ曰く、「道の確認は初めに戻るが基本」だと先を黙々歩く。

月山

（編者注・スマホ地図を例えれば、２万５千図でなく５万図で見ると詳細が分からない。前述の縦走路から外れたピークをピストンする場合、５万図だとピストン部分が一直線に見えるので間違い

易い。地形を見てオカシイと思ったら、拡大して確認が必要だ）

　石裂山までは、岩場の急な下りもあったり、張り出した木の根が見事に絡み合うヤセ尾根道はタコの足を想像したりでなかなか楽しい。この頃には涼しい感じがあり汗も何時しか引っ込んだ！
石裂山からは、案内板のとおり長いハシゴの連続だ。
　もう終わりかな？と思うと先にまたまた続く。然し、しっかり取り付けられてあり何も心配がない。ただ、長過ぎて息が切れるだけだ。長いハシゴでハァハァ！ふぅふぅ！ロープを頼りに岩を下るは緊張を繰り返す。

長い梯子（まだ上に続いている）

奥の宮

皆の息遣いが荒い。標高が低いのに何とキツイ山だろうと思った。ハシゴは下るより上る方が安全だ。この山の左周りでは、ハシゴの直登の長い下りが多い。よって、ＣＬの反時計回りの判断は正しかった！と私は思った。

途中に鳥居のある岩屋の「奥の宮」があった。ＣＬのみハシゴを上って確認。この下の岩場は、やたら太いクサリが続き、掴みにくく閉口。太ければイイというものではない。

更に栃木県天然記念物の「千年桂」に出会う。見事だ！大木だが、ただ大木ではなく何本にも分かれて一塊でスクッと空にのびている。陽当たりの悪い沢のような場所で、よく流されずに此処まで大きくなったと感心する。自然はやっぱり凄い！

この山は標高こそ低いが、自然の驚異を「これでもか？」と見せつけてくれる。アスレチックコース的な山と言ってしまえば、ただ単に危険な個所を楽しむことで終わってしまうけれど、其処此処に自然が織りなす美が点在していた。

切り立ったヤセ尾根、張り出した木の根の美しさ、岩壁、岩屋、千本桂等など。ヒルに出会わなかったのが良かったのか。魅力満載のこの山にバンザイだ。心残る山であった。

その他の記述（後藤）

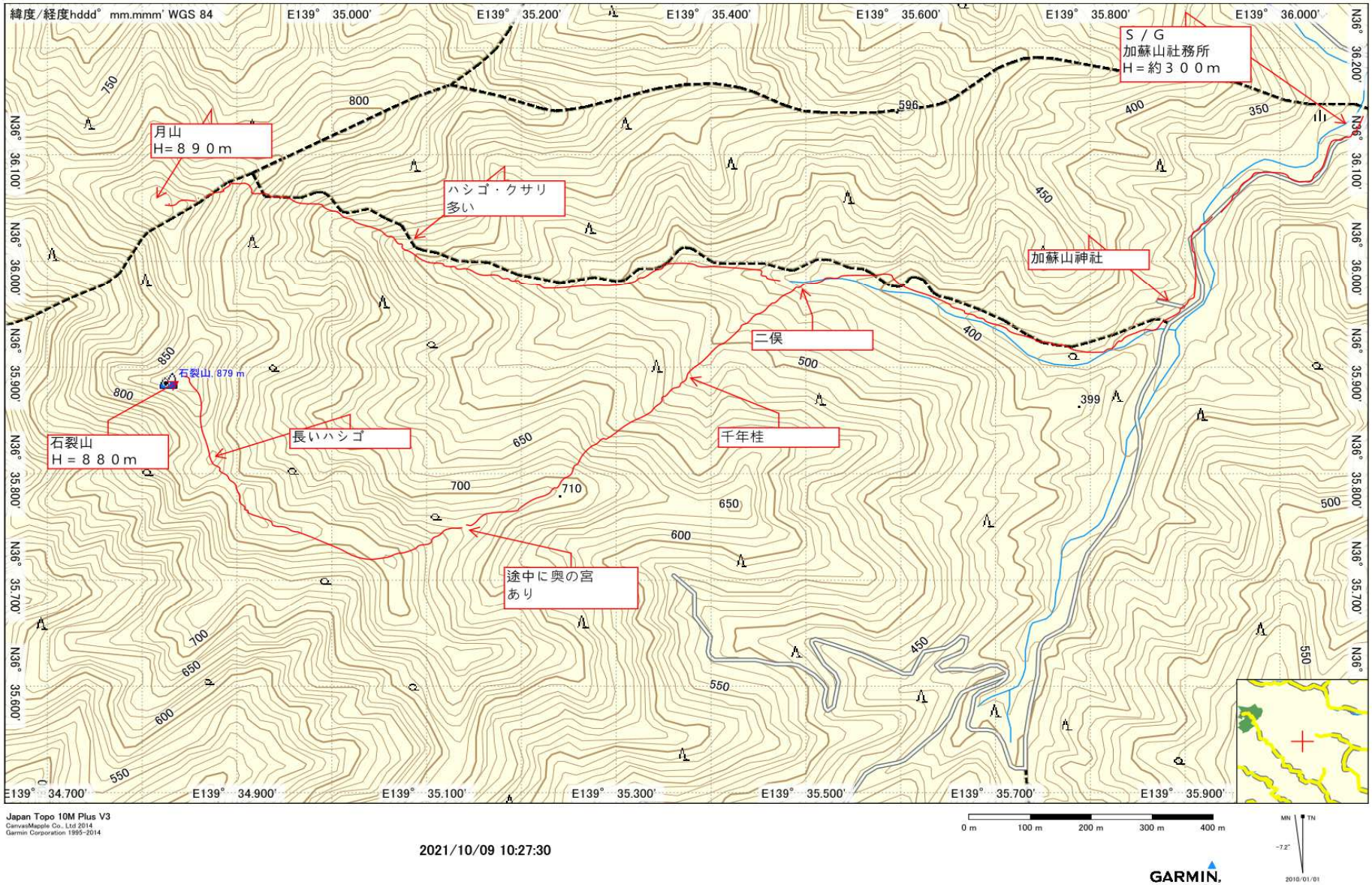
１．久しぶりの二連荘（ちゃん）の山。登山開始が遅くなるのが、玉に瑕（きず）。

２．ハシゴは、スッテップが紙ヤスリのような滑り止め。取っ手は、楕円形でとても握り易い形状

だった。クサリは酷かったが、ハシゴは良いデザインだった。

３．周辺は岩山が多い。鹿沼ＩＣ近くの岩山（猿岩・３２８ｍ）が平野からスッと佇立し、異彩を放っていた。次回、上りたいね。

栃木県天然記念物・千本桂


緯度/経度hddd° mm.mmm' WGS 84
S / G
加蘇山社務所
H＝約３００ｍ
月山
H=８９０ｍ
ハシゴ・クサリ
多い
加蘇山神社
二俣
千年桂
長いハシゴ
石裂山
H＝８８０ｍ
途中に奥の宮
あり
石裂山, 879 m
Japan Topo 10M Plus V3
CanvasMapple Co., Ltd 2014
Garmin Corporation 1995-2014
2021/10/09 10:27:30
GARMIN

裾野麗峰山の会・山行報告書	文・写真　後藤
山行番	NO.1948
日　時	2021 年 10 月 07 日（木）晴れ
山　域	那須連峰（日本百名山、最高峰・三本槍岳 1917m）
コース	起床 4:00-駐車場発 5:00-峰ノ茶屋跡 6:05-剣ヶ峰-朝日岳 6:48-1900m 峰 7:11-三本槍岳 8:15-大峠分岐-大峠 9:41-三斗小屋 11:18～57（昼食）-沼原分岐-峰ノ茶屋跡 13:14-茶臼岳 13:49-峰ノ茶屋跡-駐車場 15:00-那須温泉・藤田屋（泊）
標高差	上り　駐車場約 1470m～三本槍岳 1917m＝約 447m 中ノ沢約 1300m～茶臼岳 1915m＝約 615m　合計＝約 1062m 下り　三本槍岳 1917m～中ノ沢約 1300m＝617m 茶臼岳 1915m～駐車場約 1470m＝約 445m　合計＝約 1062m
藪漕度	上り・下り　なし
難易度	非常に困難　困難　レやや困難　普通　やや易しい　易しい
10時間、厳しい那須連峰周回	
参加者	後藤、加藤、星、合谷＝4 名

登山経験は、既に５０余年になるが、何故か那須連峰（日本百名山・最高峰＝三本槍岳 1917m）は未踏だった。理由は不明。他の日本百名山で八幡平なども未踏である。

８/１３，山岳スキーで高名な金沢市のＹＳＨＲさんが、ここを周回した。私は未踏であり、「ハハ～、これは面白そうだ」と思った。行くなら、これしかない感じだった。

駐車場

峰ノ茶屋跡（現在、避難小屋）

前日、鹿沼・岩裂山（おざくやま）に上り那須に来た。ところが天気は悪い。キリションの小雨模様でモーレツに寒かった。ただ、駐車場対岸の鬼面山の紅葉は見事だった。主にナナカマドの紅葉で、緑の笹の中の紅葉は鮮烈だった。

結局、峰ノ茶屋駐車場でなく、ロープウェイ駐車場に下りテントを張った。兎に角、寒いのでテントに潜り鍋を突く。アルコールも入り、次第に温まり、口は軽くなった。鍋は例によって、肉・

野菜仕立てだが、空腹に美味しかった。天気が良くないので女子は車で寝た。ヤローは、テントで夜半に雨に降られ、結構、濡れてしまった。

７日、４時起床。手早く朝食を済ませ駐車場に向かう。何でも駐車場は広くないので、紅葉の最盛期は駐車が出来ず登山が出来なくなると脅かされた。確かに狭い駐車場である。幸いまだ置けた。

５時発。計画書通りである。雨は止んでいた。整備された登山道を峰ノ茶屋跡に向かう。昨日の疲れで腰が重く、左膝が痛い。ニ連ちゃんは、この歳では厳しいか。峠は現在、避難小屋がある。剣ヶ峰を経て朝日岳着。太陽が見え隠れする。

朝日岳

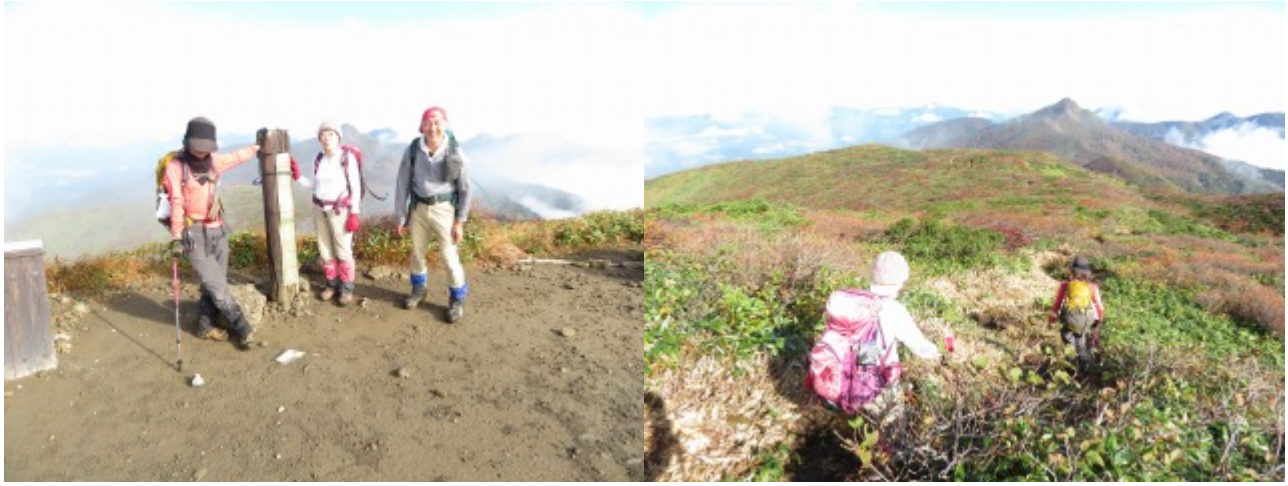
１９００ｍ峰

三本槍岳に向かう。概ね下りが続く。北温泉分岐から先は、木道の平坦地が続き、なかなか良い感じだった。霧が晴れ辺りは見事な紅葉が広がっていた。静岡の紅葉と違い、赤が多く艶やか。

三本槍岳の上りに掛かる。程なく頂上着。北の旭岳の尖がりピークが印象的。遥か会津方面の展望が素晴らしかった。磐梯山も見えた。三本槍山名には、いわれがあった。

・・・那須連山の最高峰、標高 1,917 m の三本槍岳。 三本槍の名は、江戸時代に山麓の会津、那須、黒羽の三藩の領地争いがあり、境界がはっきりしなかった山頂部に槍を立て、自藩の領地を主張したことにちなむと言われている・・・ネット

三本槍岳上り



三本槍岳山頂

三本槍岳から大峠に下る。多くの登山者は、大峠に行かず、Ｕターンして往路を戻る。しかし、我々は「周回登山」で初志貫徹。

大峠分岐から、上越を彷彿とさせる笹尾根を下る。勿論、誰も居ない。途中の展望台で食事。朝が早かったので空腹を感じた。「ひつまぶしのお茶漬け」で空腹を満たした。お茶漬けは、流動食で有難い。

眼下に旭岳をバックにした、鏡ヶ沼が素晴らしかった。「那須の瞳」のような沼だった。ただ、沼見学は、上からも下からも大変。快適な尾根を下る。大峠まで標高差は、約４５７ｍ。標高差の

左・旭岳と右・鏡ヶ沼

三本槍下り

大峠

割に長く感じる。大峠は、お地蔵さまが数体並んでいた。大峠は、歴史が感じられるところだった。

・・・福島県の下郷町と栃木県那須塩原市との境に位置する標高 1460 メートルの大峠。江戸時代には会津藩の松川街道として整備されました。現在、車は途中までしか行かず、登山道のような旧街道を約 1 時間歩くと峠の頂上になります。栃木県側からの三斗小屋温泉からも歩いて約 1 時間かかります。 峠には会津戦争の時、会津藩が構築した塹壕跡が 146 メートル残っています。会津戦争の時、会津兵は下郷へ退却してしまい、ここでは戦いはありませんでした。峠の両側に深さ約 80

センチの塹壕（ざんごう）と砲台跡が残っています。ここから、那須の三本槍岳まで約２時間の登山道がある・・・ネット

峠から三斗小屋に向かう。途中、峠沢・中ノ沢・赤岩沢が三本あった。いずれも、増水すると渡渉が大変そうな沢だった。また、平行道と思いきや、上り下り多い。最後の中ノ沢から三斗小屋まで標高差約２００ｍは実にキツかった。

中ノ沢

赤岩沢

ヘロヘロで三斗小屋・大黒屋着。久しぶりの好天なのだろうか、庭にシーツが何枚も干してあった。ここで昼食。大いに空腹だった。ビアも頂いた。小屋にまだお客は居なかった。来るのはこれからであろう。従業員が渡り廊下で、煙草をスパスパやっていた。若い方だったが、最近は若い方の喫煙は珍しい。小一時間で再び出発。茶臼岳まで最後の標高差約４５５ｍの上りだった。出発すると煙草屋前で歩荷に会った。若い女性だった。

大黒屋

荷物は３０ｋｇ位といった。山が好きでアルバイトのようだ。皆で「１０ｋｇ１万位かなァ」と話題。駐車場から上り１時間（＋アルファ）峠から小屋まで１時間（＋アルファ）で、歩荷としては、まあまあの時間だろうか。私も若いころ、５０ｋｇの歩荷訓練を行った。冬山では、最高３５

ｋｇ背負った。でも、女性で３０ｋｇは、重いだろうね。

若い女性の歩荷さん（何か重そうだね）

　昼食を食べて元気が出た。茶臼岳の上りは快調だった。他の方も元気でピッタリ着いて来た。平均年齢７１歳にしては超元気だった。

　峰ノ茶屋跡で「那須連峰周回」が完成し、茶臼岳は往復。俄然、登山者が多くなった。多くの方が茶臼岳往復の模様。年配のジジ・ババさまも多い。鳥居が見えたら頂上だった。

茶臼岳頂上

何処かの親子に記念写真を頼んだ。指で「丸（周回）」パフォーマンスをした。お父さんに「何処から来ました」と聞かれたので、「三本槍岳～大峠～三斗温泉～」と答えたが、イマイチ、ピンと来なかったようだ。重い足を引きずって下山。駐車場着１５：００。発時間・帰着時間共、ピッタリ計画書通りだった。

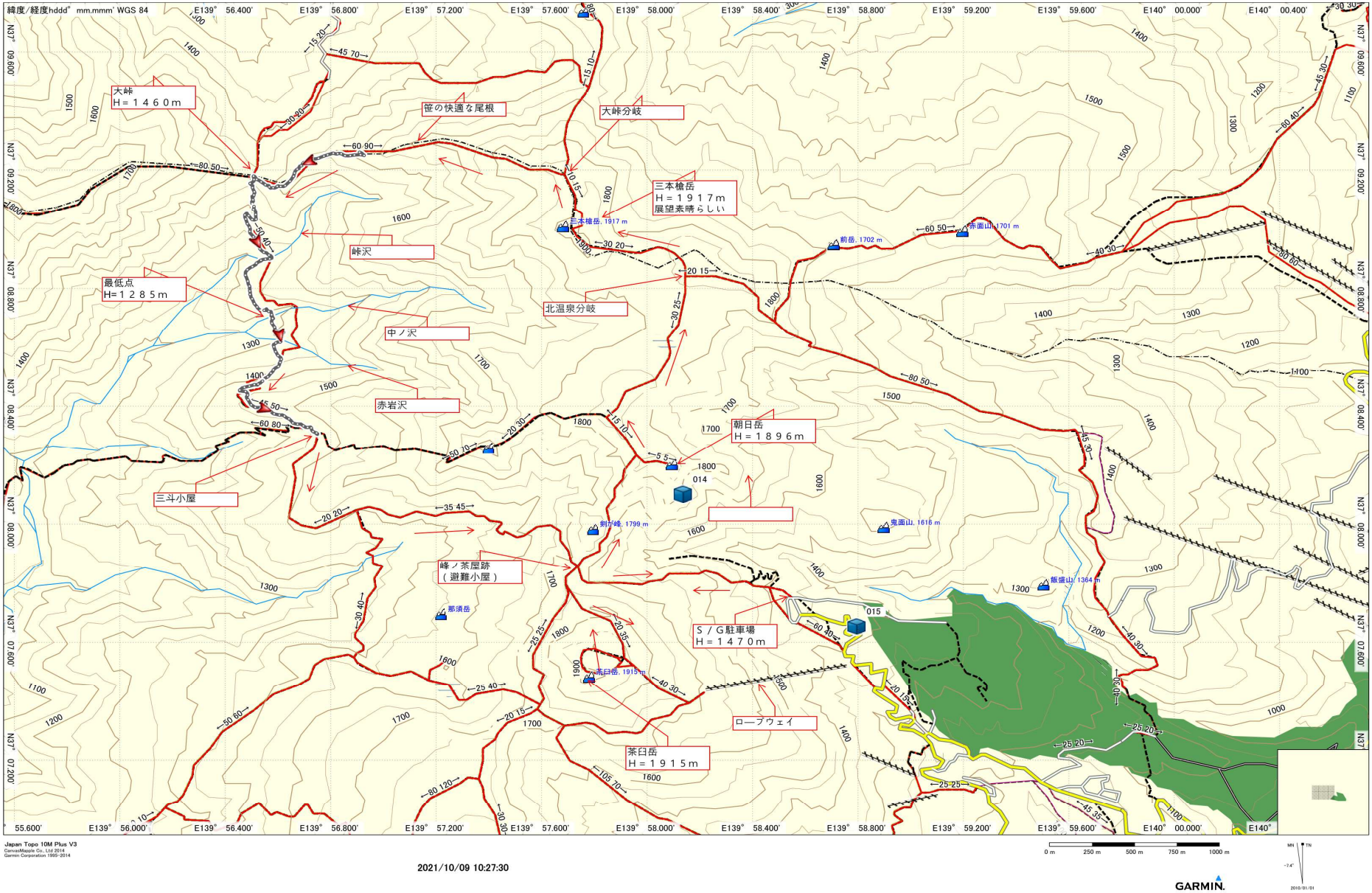
最近、遠路の山は、下山し温泉を楽しんでいる。山をサッと上って、あたふたと帰るのは、どうも戴けなくなってしまった。年寄り、年配者の山の楽しみ方があるのでは？？！！（仕事をしている方には、申し訳ないが・・・）

那須温泉・滝の湯

今回は、那須温泉の某所に泊まった。宿の選定はなかなか難しい。高価でもイイと限らない。安価でも素晴らしい宿はある。

部屋は２４畳に４名で実に清々としている。ま、ピアノもあったが、これは弾けなかった。食事は、朝・夕部屋出し。温泉は、宿泊者のみの人数限定温泉。湯は温からず熱からずのガンガン流れるかけ流し。それで超安価。本当にこんな宿がある。事故宿？？！！（笑）ただ、夕食１８：３０、朝食８：３０は、ちと遅かった

事故宿は、ないだろうが、最近泊まった中では最上級だろう。計画者としては、皆様に喜ばれ良かったヨカッタ。８日、産直で安く良品の野菜を大量に仕込み帰静した。下り車線は、緊急事態解除で観光地に向かう車が溢れていた。（了）


緯度/経度hddd° mm.mmm' WGS 84
大峠
H＝１４６０ｍ
笹の快適な尾根
大峠分岐
三本槍岳
H＝１９１７ｍ
展望素晴らしい
三本槍岳, 1917 m
前岳, 1702 m
赤面山, 1701 m
峠沢
最低点
H=１２８５ｍ
北温泉分岐
中ノ沢
赤岩沢
朝日岳
H＝１８９６ｍ
三斗小屋
剣ヶ峰, 1799 m
鬼面山, 1616 m
飯盛山, 1364 m
峰ノ茶屋跡
（避難小屋）
那須岳
Ｓ／Ｇ駐車場
H＝１４７０ｍ
茶臼岳, 1915 m
ロープウェイ
茶臼岳
H＝１９１５ｍ
Japan Topo 10M Plus V3
GarmaMapple Co., Ltd 2014
Garmin Corporation 1995-2014
2021/10/09 10:27:30
GARMIN

日本勤労者山岳連盟
静岡県勤労者山岳連盟・東部ブロック
裾野麗峰山の会（愛称・れいほう山の会）
会報「れいほう」
第２７期・８巻　　２０２１・１１月号　　NO.２４３
連絡先　静岡県駿東郡長泉町下土狩 1541-12　徳山荘
090-8956-9990　　055-986-6075
HP　　http://susono-reihou.babyblue.jp/
mail　　takanori_reihou8888@yahoo.co.jp

那須岳紅葉